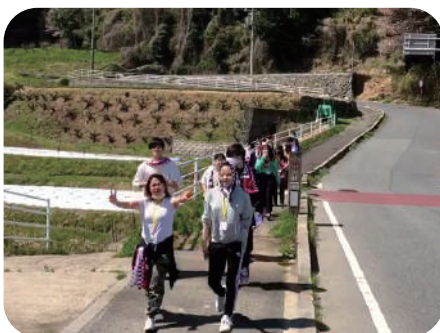


あしっ育成だより

18

立教 185 年 2 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ①道の後継者の集い開催 ②あしっスプリングフェスタ



《親のことば》

どのように伝えるのかという方法手段、技術というものは、その時代もあるでしょうし、その時々で考えなければならないでしょう。

しかし、伝える側の姿勢としては、信仰姿勢、普段から教祖の教えられたことを身に行い、なるほどの人になる努力をすることを怠ってはならないと思います。その人の信仰から伝わるということは、やはりあると思います。

(立教 185 年 真柱様年頭ご挨拶より)

①芦津道の後継者の集いⅡ 開催レポート

教会の将来を担う 若者たちが受講



「自分が何をしていけばいいかを考える契機となった。」(24歳・男)

「毎日の生活の中で、考え方のヒントをたくさん貰えた。」(38歳・女)

昨年11月27日から28日の一泊二日で、芦津詰所を会場に「芦津道の後継者の集いⅡ」を開催しました。受講したのは芦津の将来を担う若者たち。スタッフも前回開催時より若返り、同じ世代の若者が「共に育つ意識」を持って受講者の世話取りにあたりました。今号では、受講者が書いたアンケートを元に、開催時の様子を振り返りたいと思います。

昨年11月27日、28日の2日間にわたり、成部は「道の後継者の集いⅡ」を詰所で開催しました。参加者は19歳から45歳までの若者34名でした。

この集いは「教会長子弟育成プロジェクト」の一環として、教祖年祭後から次の年祭までの10年間で3年ごとに開催するものであり、芦津に繋がる若者の育成、丹精の手立ての一つです。

3年前の集いⅠに引き続き、昨年は集いⅡを開催する年でした。当初は9月・10月の開催分を含め、3次にわたって開催する予定でしたが、コロナ禍の状況を鑑みて、やむなく第1次、2次を中止し、11月末の3次のみの開催となりました。これについて、山田道弘育成部長は「コロナ禍において、予定していた2度の集いが中止となり、忸怩たる思いをしたが、第3次だけでも開催できたことは、現在目指している10年スパンでの人材育成ベースを構築する上で、大変意義のある開催だった」と語ります。

●前向きな気持ちで●

今回の集いⅡでは、新たな試みとして「選択講座」を採用しました。講座1、2、3とも複数の講座を用意し、受講生自らが興味のある項



選択講座・魚さばきと包丁研ぎの1コマ

目を受講。終了時に記入したアンケートを見ても、受講生は前向きな気持ちで、主体的に講座を受けていることが分かりました。

●さまざまな選択講座●

講座①では『教理を深める』をテーマに「かしのもの・かりもの」「十全の守護」「八つのほこり」の3つから選択。いずれも講話とねりあいを行いました。

講座②では『楽しみながらスキルを身につけよう』をテーマに「魚さばきと包丁研ぎ」「覚えておきたいキャンプテクニク」「簡単スピードメニュー」「セルフストレッチ&マッサージ」「DIY入門講座」の、教会でのひのきしんや日常生活に役立つ5つの講座を設け、参加者は

実際に体験しながらの受講となりました。

講座③は『おつとめを学ぼう』をテーマに「地方」「小鼓」「女鳴物」「おつとめ衣の着付け」から選択。信仰の要となるおつとめについて、詳しく学ぶ機会となりました。



地方（じかた）の講習の様子

●心の向きを変える●

また全体講話に、天理大学教授・臨床心理士で、本部直属淀分教会 淀高知布教所長・金山元春先生から「心の向きを変えよう」と題してお話を頂きました。

金山先生は「人間関係は相互作用です。相手を変えようとするのではなく、自分自身が変わるスイッチを入れることで人間関係はより良くなります。また、物事の捉え方を“問題志向”から“解決志向”へ変えていくことが大切です」

と、お道の人としての考え方をベースに、臨床心理の観点も交えながら、人間関係における心の持ち方、心の向きの変え方についてお話しくださいました。

●教会の将来に向けて●

この集いに参加して下さった方の中には、久しぶりのおぢば帰りの方もおられ、「参加して良かった」との感想が非常に多くありました。

育成部としては、時々「同じ芦津につながる若者が育つための場」を作ることが必要だと考えています。山田育成部長は、「育成において『集える場、集える時』は必要不可欠だと思う。今回の集いⅡでできたことと、反省点を踏まえて、立教 187 年に予定している集いⅢにつなげていきたい」と抱負を語っています。



全体講義で熱弁をふるう金山先生

●各講義の感想（アンケートより抜粋）●

「かしの・かりもの」

「身体だけでなく、周りにあるもの全てがお借りしているものということを、改めて考える機会になった」(22 歳・男)

「当たり前なのに感謝しなければと改めて思った」(42 歳・女)

「健康であることが、どれだけありがたいかということを感じた」(37 歳・男)

「共感できる話や、参考にしたいと思えることが聞けて楽しかった」(27 歳・女)

「十全の守護」

「これまで漠然としていたが、身の回りのことであり、心使いのこととして教えていただき、より身近に感じた」(24 歳・女)

「身上や事情の際、対になる守護からヒントを得られることを知り、これからの生活に活かしたい」(23 歳・男)

「この教えをこれまで深く考えていなかったと気づかされた」(39 歳・女)

前ページからのつづき

「八つのほこり」

「ほこりを積んでいる時は笑顔が出ない、という話が心に残った」(40歳・女)

「自分がほこりを積んでいるということを認めることから始めたい」(33歳・男)

「振り返りで、周りの人の話を聴くことで新たな気づきがあった」(19歳・男)

全体講話「心の向きを変えよう」

「心の向きは人に求めず、自分に、と改めて感じた」(34歳・女)

「人と人とは『相互作用』。Iメッセージ、Youメッセージの話が心に残った」(25歳・女)

「自分次第で未来が変わる。普段の生活でも『相互作用』を意識したい」(37歳・男)

「出来ないことに目を向けるのではなく、出来ていることに、有るものに目を向ける努力することが大切と学んだ」(24歳・女)

「今身近に悩んでいる人が居るので、何か解決の糸口になればと思う」(43歳・男)

「お話が分かり易く、楽しかった。自分の子育てと重なり勉強になった」(33歳・女)

写真で振り返る集いの様子

コロナ禍の中での開催で、できるだけ密にならないよう配慮をしたため、少人数での講座が多くなりました。その分、それぞれがより細かいところまで学ぶことができ、受講生にとって得るものが多かったのではないのでしょうか。



かしもの・かりものの講義



災害時にも役立つ火おこしを学ぶ



人気だったおつとめ衣の着付け



女性も挑戦したDIY入門



自分でできるストレッチ＆マッサージ



子連れ受講者にとって託児は有り難い



女鳴物は鳴物ごとに別室で



向かい合って音の出し方を確認する



楽しい金山先生のお話を受講者もリラックス

②あしつスプリングフェスタ

本部・大教会の行事を通して 未来のようぼくを育てよう

芦津大教会では、3月27日から30日までを春の若年層育成期間「あしつスプリングフェスタ」と定めています。今年は3月27日の徒歩団参、28日の春の学生おぢばがえり、29日のわかぎの集い、30日の少年会総会と続く一連の行事を通して、芦津につながる「未来のようぼく」を育成します。

**3
27**

大教会からおぢばへの 徒歩団参 ～帰ろう おぢばへ～

- 日 時 3月27日(日) 午前8時30分詰所集合
午後4時 終了予定
- 内 容 大教会参拝
十三峠越え
昼食(弁当)
本部参拝
- 参加費 300円
- 参加対象 13歳～22歳までの芦津につながる若者
- 持ち物 歩きやすい服装、履きなれた靴
※Happist タオルを用意しています



今年から中学生も参加できるようになりました！ おぢばまでの道を楽しく歩きましょう！

**3
28**

春の学生おぢばがえり ～次代を担う ようぼくへ～

- 日 時 3月28日(月) 午前9時 詰所集合
午後3時解散予定
- 内 容 本部式典参加
真柱様からのメッセージ
昼食(詰所)
午後から行事を行う予定です



3
29

わかぎの集い

～繋がろう 同世代の仲間と～

○日 時 3月29日(火) 午前9時30分受付 10時開講
午後6時30分頃閉講予定

○場 所 大教会

○参加対象 わかぎ(所属教会に繋がる中学生)

○内 容 おつとめ練習 お楽しみ行事 など

○持ち物 ハッピー 履きなれた運動靴 マスク 学生証

○申し込み 所属教会を通して「参加申込書」を大教会へ提出してください。



3
30

50th

第50回記念 少年会芦津団総会

○日 時 3月30日(水) 午前8時30分受付開始 午前10時開会

○場 所 大教会

○内 容 おつとめ(座りづとめ よろづよ八首)

総会式典 成人門出式

お供え作品展 お楽しみ行事



① 道の後継者の集い開催 ② あしつスプリングフェスタ

あしつ 育成だより 18

立教 185 年 2 月 23 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部